

平成27年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	中伊豆線			事業者名	伊豆箱根バス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	修善寺駅	地藏堂 貴僧坊	筏場		
系統キロ程 (km)	12.7	輸送量 (人/日)	36.0		
平均乗車密度 (人/便)	2.5	運行回数 (回/日)	14.4		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	修善寺南小学校、中伊豆小学校、修善寺中学校、中伊豆中学校			
	病院	中伊豆温泉病院、伊豆赤十字病院			
	商業施設	銀行（静岡・スガ・静岡中央・三島信用）、修善寺郵便局、JA伊豆の国農の駅、マックスバリュ修善寺駅前店、モガワ、コメリ、スーパーカドイケ中伊豆店			
	その他	伊豆市役所、伊豆市役所中伊豆支所、中伊豆図書館、修善寺郵便局、伊豆箱根鉄道修善寺駅、橋保育園、さくらこども園、JAハートフルメモリー修善寺会館			
収支率 (%) (収益/費用)	40.8		乗車人員 (人)	92,066	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停3	名称	拠点：伊豆箱根鉄道修善寺駅 バス停：上和田橋、戸倉野、八幡		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	51.9				
増収策	<p>利用者の利用実態に即し、通学定期券の割引率を高めた特割通学定期券、平日のみ利用可能な平日型通学定期券（ウィークデー定期券）、片道のみ利用可能な片道通学定期券を引き続き発売。伊豆市の協力のもと、市内のバス路線沿線に時刻表（詳細表示）を配布。ホームページを全面リニューアルし、経路検索を可能にする等、検索しやすいサイトに改良した。増加するインバウンドの利用者を取り込むため、伊豆箱根鉄道と沿線の当社路線のフリー乗車券を発売した。</p>				
費用削減策	<p>仕業数の見直しによる人件費の削減を実施。 アイドリングストップ強化。 乗務員教育を定期的に行い、事故防止意識を醸成することで、車両修繕費や保険料等の費用の抑制 燃料の仕入方法や車両清掃の方法等を変更し、経費の削減を強化</p>				
沿線市町のサポート	<p>【伊豆市】 ・バス利用促進策として、小中学生のバス通学費全額補助、高校生のバス通学費補助事業、高齢者路線バス割引乗車証（いきいきパス）の販売及び購入費の補助、時刻表の全戸配布等を実施。また、生活スタイルの変化による夜間の路線バス運行の要望を受け、部活動・塾帰りの中高生や、仕事などで帰宅時間が遅くなった方をターゲットに、21時8分・修善寺駅発筏場行きバスの運行を今年度も継続している。 また、定期的にバス事業者や教育委員会等との会議や打合せを行い、地域公共交通会議（1月22日開催）の中でも、当該系統について協議を行った。</p>				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150 広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10 アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30 乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

系統地図

